



漢字に、なぜ音読みと訓読みがあるの

音読みは、中国語から取り入れたもの

漢字は、中国から伝わってきた文字です。その中国は、たいへん広く、また、歴史が長い
 ため、漢字の音(字音)は、地方によって、また時代によっても、ちがいます。日本へは、
 それらのちがった字音が、次々に伝えられたので、一つの漢字にも、いろいろな音読みが、
 できてしまいました。字音に、呉音・漢音・唐音(宋音ともいう)といった種類があるのは、
 そのためです。たとえば、「公」という字の呉音はク、漢音はコウ、唐音はクンです。

訓読みは、漢字に日本語をあてはめたもの

中国から伝わった漢字は、それぞれ、中国語での意味をもっています。その意味に応じ
 て、日本語をあてはめたものが、訓読みです。たとえば、「花」という字は、日本語の「ハ
 ナ」と同じ意味であるとして、「花」を「ハナ」と読むことに、決めたのです。ただし、中国語
 の意味と、日本語のことばとが、ぴったり合わず、中国語と日本語の間で、意味がちがっ
 てしまった漢字もあります。(監修・田代 脩)

